

令和2年度愛知県合同輸血療法委員会議事概要

I 日 時

令和3年1月26日（火）から令和3年2月9日（火）まで（書面開催）

II 委 員（13名）（順不同、敬称略） （注）◎：委員長

小澤 幸泰、尾関 和貴、笠井 雅信、◎加藤 栄史、木下 朝博、倉橋 信悟、近藤 勝、齋藤 俊樹、澤 正史、松下 正、三浦 康生、山本 一仁、李 政樹

III 依頼参加者（2名）（順不同、敬称略）

伊藤 達也、杉浦 勇

<議題>

1 「愛知県内の小規模医療機関における輸血の管理体制に関する調査」の結果について

令和2年9月に、県内128医療機関（令和元年度に実施した「小規模医療機関における輸血医療の実態調査」の回答施設）を対象として依頼した「愛知県内の小規模医療機関における輸血の管理体制に関する調査」について、回答のあった110施設のとりまとめ結果に対して、意見を求めた。

当初、当該調査については、令和2年度の本委員会において考察を付す予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑み、書面開催としたことから、各委員から調査結果に対する意見を募るに留め、令和3年度の合同輸血療法委員会において議論の後、考察を付すこととした。

なお、令和2年度の調査結果については、現時点でとりまとめたものを医師会及びアンケートに回答した医療機関へフィードバックするとともに、愛知県合同輸血療法委員会ウェブページに掲載する等して、小規模医療機関における輸血の管理体制についての認識を共有していくこととなった。

2 輸血情報について

HEV-NAT導入による輸血用血液製剤の更なる安全対策の実施について、輸血用血液製剤の添付文書の改訂について、「輸血療法の実施に関する指針」の一部改正について、輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例について、赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用について及び輸血による細菌感染について、愛知県赤十字血液センターから情報提供された。

3 令和3年度の愛知県合同輸血療法委員会の活動について

令和3年度の愛知県合同輸血療法委員会の活動については、以下の事項が承認された。加えて、複数の委員から、今後の委員会の活動において、これまでの調査結果で明らかとなった課題を解決するための活動を考えていくべきとの提言がなされており、それらを踏まえ、具体的な活動方針を各委員に議論いただく予定としている。

① 平成 30 年度から令和 2 年度までに愛知県合同輸血療法委員会で実施した調査に関し、総括を行う。

② 令和元年度から令和 2 年度に実施した調査の中で、小規模医療機関から、輸血実施における医療従事者への研修実施等の教育、サポート体制の構築及び教育用動画の作成等について、意見や要望が挙げられている。

日本赤十字社及び愛知県赤十字血液センターにおいては、輸血用血液製剤の適正使用のため、既に医療従事者向けに各種研修の実施や資材の作成を行っていることから、これまでの調査における意見や要望を踏まえ、これらの事業や資材の紹介を行う。

③ これまでの調査における意見や要望も踏まえ、令和 4 年度以降の活動方針について、各委員に議論いただく。